

科目名称	看護研究（研究方法論）
授業コード	BK350
英語名称	
学期	2024年度前期
単位	1.0
担当教員	大釜 信政, 大原 裕子, 清野 純子, 長田 知恵子
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	この講義では、これまでに学修した学内および臨地実習での学びを通して、看護に関する課題を見つける力、課題にまつわる文献を収集できる力、集めた文献から批判的吟味をして評価する力、論理的に研究を遂行できる力などについて修得し、看護研究の基本的知識について理解できることに主眼をおく。
科目に関連する実務経験と授業への活用	本科目では、看護師実務経験のある教員らが看護研究の基本的知識を具体的に教授する。
到達目標	<p>本科目は、看護の専門科目（専門分野）の看護の発展の科目である。カリキュラム・ポリシーに掲げる「豊かな人間性を培い、時代のニーズに適応できる学修能力を養うため、多様な教養科目を配置する」「看護学としての専門知識・技術を学び、論理的思考を修得するため、看護の基本、看護援助の方法、看護の実践、看護の発展科目を設置する」に基づく。</p> <p>本科目はディプロマポリシーに掲げる「科学的根拠に基づき、対象者の健康と生活の質を高める看護を実践するための論理的思考力、基本的な問題解決能力を修得」することができるよう以下を達成目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究の定義や目的について述べることができる。 2. 看護研究の重要性について述べることができる。 3. 看護研究の一般的なプロセスについて述べることができる。 4. 興味のある研究課題に関連した文献を検索できる。 5. 検索した先行研究について、文献整理表を用いて情報をまとめることができる。 6. 先行研究を精査して、記載内容の良い点や足りない点など、自らの意見を述べることができる。 7. 看護研究の全過程において、倫理的配慮の重要性について述べるができる。 8. 看護実践と看護研究との関係を意識して、よりよいケアの探求が研究につながる点について述べるができる。
計画・内容	<p>【第1回】 オリエンテーション 担当：大釜（看護師） 研究とはなにか、看護研究とはなにか、看護研究の重要性について 担当教員：長田 予習・復習：テキストや講義資料を用いて、看護研究の定義や特徴、看護実践の質の向上にとって必要な看護研究の意義について整理する。</p> <p>【第2回】 研究における倫理的配慮 担当教員：清野（看護師） 予習・復習：テキストや講義資料を用いて、研究における倫理的配慮の原則について整理する。 【課題1】研究倫理eラーニングコースの受講 日本学術振興会が提供する研究倫理eラーニングコース修了し、修了証書を提出する。提出期限・提出方法：6月19日（水曜日）17時までにCampusSquareに提出する。</p> <p>【第3回】 研究論文の構成 担当教員：大原（看護師） 予習・復習：テキストや講義資料を用いて、研究論文の構成について理解する。とくに、目的、方法、結</p>

計画・内容	<p>果、考察に含める内容を整理する。</p> <p>【第4回】 研究デザイン 担当教員：大釜（看護師） 予習・復習：テキストや講義資料を用いて、リサーチ・クエスチョンに基づく研究設計やその方法について整理する。</p> <p>【第5回】 医学中央雑誌WebやCiNii Articlesなどによる文献検索方法 担当：大釜（看護師） 予習・復習：テキストや講義資料を用いて、文献レビューの目的や文献検索方法について整理する。</p> <p>【第6回】 文献レビューの実際 担当教員：大釜（看護師） 予習・復習：テキストや講義資料を用いて、特定のテーマに関する文献を網羅的に検索し、研究目的に沿って検討するための実践方法について整理する。</p> <p>【第7回】 量的研究における研究デザイン・概念枠組み、アンケートデータの収集 担当教員：清野（看護師） 予習・復習：テキストや講義資料を用いて、量的研究デザイン・概念枠組み、アンケート調査の実施方法について整理する。</p> <p>【第8回】 量的研究におけるデータ分析と解釈（加二乗検定、T検定、一元配置分散分析） 担当教員：清野（看護師） 予習・復習：テキストや講義資料を用いて、量的データとは何か、量的データの分析方法について整理する。</p> <p>【第9回】 質的・帰納的研究の概要 担当教員：大原（看護師） 予習・復習：テキストや講義資料を用いて、質的研究の種類や分析方法の概要について整理する。</p> <p>【第10回】 質的・帰納的研究論文の実際 担当教員：大原（看護師） 予習・復習：テキストや講義資料、質的研究論文を用いて、質的研究の特徴について整理する。</p> <p>【第11回】 文献の読み方 担当教員：大釜（看護師） 予習・復習：テキストや授業資料を用いて、クリティークの目的、文献の読み方、クリティークのポイントについて整理する。</p> <p>【第12回】 文献クリティークの実際 担当教員：大釜（看護師） 予習・復習：テキストや授業資料を用いて、クリティークの目的、文献の読み方、クリティークのポイントについて整理する。 【課題2】テキスト「医学書院：看護研究」pp.68～70(特に表3-3)とpp.283～298を必ず参照しながら、文献クリティーク表を完成させる（手書き）。 提出期限・提出方法：6月26日（水曜日）17時までに2号館1階大釜教員メールボックスに提出する。</p> <p>【第13回】 文献整理表の作成 演習 文献整理表の記載方法に関する説明、自らの研究課題に関する文献を検索するためのキーワードの確認、文献検索の実施、検索結果の保存 担当教員：長田・全教員 担当教員との質疑・応答を通じて、自らの研究課題に関する先行研究論文を検索する。</p> <p>【第14回】 文献整理表 演習 文献整理表の作成 担当教員：全教員 担当教員との質疑・応答を通じて、先行研究論文3編以上を文献整理表にまとめる。</p>
-------	---

計画・内容	<p>【第15回】</p> <p>文献整理表 演習 文献整理表の作成 担当教員：全教員 担当教員との質疑・応答を通じて、先行研究論文3編以上を文献整理表にまとめる。</p> <p>【課題3】学生自身が興味を持っている研究課題に関する文献を3編以上集めて、文献整理表にまとめる。 提出期限・提出方法：7月17日（水曜日）17時までにCampusSquareに提出する。</p>
授業の進め方	<p>講義を中心に行うが、文献クリティークや文献整理表の作成では演習を通して学ぶ。</p> <p>註1)【課題】研究倫理eラーニングは、学生各自で受講する。研究倫理eラーニングの受講修了証書を提出しなかった学生は、4年次看護研究（必修科目）の履修が行えないので注意すること。</p> <p>註2)【課題】【課題】【課題】を、それぞれ提出期限・方法に従って提出すること。</p> <p>註3) 演習では、ノートパソコンを持参すると、効率よく作業を進められると思われる。</p>
能動的な学びの実施	<p>研究倫理eラーニングコースを各自で受講する。各自の興味・関心や問題意識に応じて、先行研究について整理する。</p>
授業時間外の学修	<p>予習：1時間程度 復習：2時間程度</p>
教科書・参考書	<p>教科書：坂下玲子 他：系統看護学講座別巻 看護研究 医学書院 参考書：南裕子編集：看護における研究，日本看護研究出版会 桂敏樹、星野明子：かんたん看護研究、南江堂 大木秀一：量的な看護研究のきほん、医歯薬出版KK</p>
成績評価方法と基準	<p>【課題1】研究倫理eラーニング受講修了証書：40点 提出期限：6月19日（水）17時までにCampusSquareに提出すること</p> <p>【課題】文献クリティーク表：30点 提出期限：6月26日（水）17時までに2号館1階大釜教員メールボックスに提出すること</p> <p>【課題】文献整理表：30点 提出期限：7月17日（水）17時までにCampusSquareに提出すること</p>
課題等に対するフィードバック	<p>適宜、講義の中で補足する。</p>
オフィスアワー	<p>講義終了後やメールで質問等を受けつける。</p>
留意事項	<p>1. 出席が2/3に満たない学生に対して、当該年度の単位の認定はできない。</p> <p>2. 研究倫理eラーニングの受講修了書を提出しなかった学生は、4年次看護研究（必修科目）の履修が行えないので注意すること。</p> <p>3. 課題の提出期限と提出方法を厳守すること。</p> <p>4. 4年次の看護研究 につなげるための概論であり、看護研究は看護職者になっても重要な分野である点を意識して当該科目を履修すること。</p>

非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>授業の進め方 Zoom双方向型で講義・演習を行う。</p> <p>成績評価方法と基準 提出された課題の内容によって評価する。</p> <p>【課題1】研究倫理eラーニング受講修了証書：40点</p> <p>【課題2】文献クリティーク表：30点</p> <p>【課題3】研究整理表：30点</p>
------------------------------------	--